

## 第一種衛生管理者試験解答解説(平成 28 年 4 月公表)

[関係法令(有害業務に係るもの)]

問 1(1)

(1)正しい

(2) 常時 800 人の労働者の事業場では 3 人以上の衛生管理者を選任すれば良いので違反ではない。

(3) 衛生管理者を 2 名以上選任した中に労働衛生コンサルタントがいる場合、労働衛生コンサルタントの内 1 名だけは専属でなくても良い。

(4) 常時使用労働者が 500 名を超える事業所で一定の「有害業務」に常時「30 人」以上の労働者を従事させるときは衛生管理者の内、1 名は「衛生工学衛生管理者免許」を有する者から選任しなければならない。

(5) 常時使用労働者が 500 名を超える事業所で「有害業務」に常時「30 人」以上の労働者を従事させるときは衛生管理者の内、少なくとも 1 名は「専任」にしなくてはならない。

平成 27 年 4 月公表問題 問 1 の変形

問 2(4)

(4) 特別教育が必要

平成 25 年 10 月公表 問 2 の変形

問 3(2)

(2) 該当

平成 27 年 10 月公表 問 3 の変形

問 4(4)

(4) 取得できる

平成 26 年 10 月公表 問 2 と同じ問題

問 5(3)

(3) 有機溶剤を製造、取扱う作業では「有機溶剤作業主任者」を選任する必要がある。

平成 26 年 10 月公表 問 7 の変形

問 6(5)

(5) 「石綿関係記録報告書」の添付書類に「局所排気装置、除じん装置の定期自主検査の記録」

は不要である。平成 26 年 4 月公表 問 5 の変形

問 7(5)

(5) 交付対象

平成 25 年 4 月公表 問 9 と同じ問題

問 8(3)

(1) 「二酸化炭素」の濃度の測定は不要である。

(2) 「亜硫酸ガス」ではなく「硫化水素」の濃度を測定しなければならない。

(3) 正しい

(4) 爆発のおそれがあるので換気に「純酸素」は使用してはいけない。

(5) 「防毒マスク」ではなく「空気呼吸器、酸素呼吸器」を備える

平成 27 年 10 月公表 問 5 の変形

問 9(1)

(1) 「6 ヶ月」以内ごとに 1 回、定期的に空気中の粉じんの濃度の測定を行う必要がある。

平成 27 年 10 月公表 問 7 の変形

問 10(1)

A 多量の低温物体を取り扱う業務

B 鉛、水銀、一酸化炭素、その他これらに準ずる有害物の粉じん、蒸気又はガスを発散する場所における業務が労働時間の延長を1日2時間を超えてはいけない業務である。

平成 26 年 10 月公表 問 10 の変形

[労働衛生(有害業務に係るもの)]

問 11(4)

イーウーアーエ が優先度の高い順である。

問 12(2)

(2)ジクロルベンジジンは常温、常圧では「粉じん」である。

平成 26 年 10 月公表 問 12 の変形

問 13(2)

A…酸性 B…塩素

が正しい組み合わせである。

平成 26 年 10 月公表 問 13 と同じ問題

問 14(1)

(1)騒音性難聴は、音を神経に伝達する内耳の「聴覚器官の有毛細胞の変性」によって起こる。

平成 27 年 10 月公表問題 問 14 の変形

問 15(2)

(2)鉛中毒では「貧血、末梢神経障害、腹部の痙痛」等の症状がみられる。

平成 27 年 10 月公表問題 問 17 の変形

問 16(1)

(1)正しい

(2)虚脱熱は熱失神とも言われ、脳の血量が不足した時に起こり、脈拍は早くなるが体温の上昇はみられない。

(3)金属熱は金属ヒュームを吸入することにより発熱する疾病である。

(4)凍瘡は、日常生活内での軽度の寒冷により発生するもので、凍結壊死は伴わない。

(5)減圧症は酸素だけではなく窒素が気泡化することによって起こる。

平成 27 年 4 月公表問題 問 16 と同じ問題

問 17(1)

(1)正しい

(2)ベンジジン … 膀胱がん

(3)ビス(クロロメチル)エーテル … 肺がん

(4)コールタール … 皮膚がん

(5)石綿 … 肺がん

問 18(3)

A… 空気清浄装置 B…ファン C…排気ダクト

が正しい組み合わせである。

問 19(1)

(1)電動ファン付き呼吸用保護具は、有害物質を含む空気をフィルタで除去した後、その清浄空気を電動ファンによって、着用者に送る呼吸用保護具である。

平成 27 年 10 月公表問題 問 19 の変形

問 20(1)

A…短い B…有機溶剤代謝物 C…採尿

が正しい組み合わせである。

平成 26 年 10 月公表問題 問 20 の変形

[関係法令(有害業務に係るもの以外のもの)]

問 21(3)

(3)衛生管理者は少なくとも毎「週」1 回、作業場を巡視する義務がある。

平成 27 年 10 月公表問題 問 21 の変形

問 22(3)

(3)衛生委員会の議長を除く「全委員」ではなく「半数の委員」である。

平成 27 年 4 月公表問題 問 22 の変形

問 23(5)

(5)「尿検査」は省略することは出来ない。

平成 27 年 4 月公表問題 問 23 の変形

問 24(2)

(1)1 か月当たり「100 時間」を越えた場合である。

(2)正しい

(3)面接指導を行う医師は「産業医」には限られない。

(4)面接実施後「遅滞なく」、医師の意見を聴かなければならない。

(5)記録の保存期間は「5 年」である。

平成 27 年 10 月公表問題 問 24 の変形

問 25(3)

(3) 食堂の床面積は1人について「1 m<sup>2</sup>以上」としなければならない。

平成 27 年 10 月公表問題 問 25 の変形

問 26(3)

(3) 1 か月単位の変形労働時間制に関する定めをした労使協定は所轄労働基準監督署に届け出る必要がある。

平成 25 年 4 月公表問題 問 26 の変形

問 27(2)

(1) 「20 日」の休暇を与えなければならない。

(2) 正しい

(3) 育児休業、介護休業で休業した期間は、出勤率の算定に当たっては「出勤した」とみなす。

(4) 休暇の請求権は「2 年間」で時効となる。

(5) 監督又は管理の地位にある者及び機密の事務を取り扱う者についても「休暇」に関する規定は適用される。

平成 25 年 4 月公表問題 問 27 と同じ問題

[労働衛生(有害業務に係るもの以外のもの)]

問 28(4)

(4) 4 つのケアとは①セルフケア、②ラインによるケア、③事業場内産業保健スタッフによるケア、④事業場外資源によるケアをいう。

問 29(2)

(2) 「健康測定」における医学的検査は「労働者の健康の保持増進」が目的で行なわれる。

健康障害や疾病を早期発見するために行われるのは「健康診断」である。

問 30(3)

疾病休業日数率…  $240/14,400 \times 100 = 1.6666\cdots$

病休件数年千人率…  $23/60 \times 1,000 = 383.3333\cdots$

よって(3)が正しい組み合わせである。

問 31(5)

- (1) 複雑骨折とは、骨の先端が皮膚から出ている骨折(開放骨折)のことをいう
- (2) 感染を起こしやすいので骨には触らないようにする。
- (3) 骨折が疑われる部位は、決して動かしてはならない。
- (4) 誤り 骨折部の固定のための副子は、先端が手先や足先から少し「出る」ようにする。
- (5) 正しい

平成 27 年 10 月公表問題 問 31 の変形

問 32(4)

- (4) 虚血性心疾患は、「心筋」への血液の供給が不足したり途絶えることにより起こる心筋障害である。

平成 26 年 10 月公表問題 問 31 の変形

問 33(2)

- (2) 腸炎ビブリオ菌による食中毒は「感染型」食中毒である。

平成 26 年 10 月公表問題 問 33 の変形

問 34(4)

$BMI = \text{体重(kg)} \div (\text{身長(m)} \times \text{身長(m)})$

よって  $X \div (1.7 \times 1.7) = 25$  未満の最大

上記Xは(4)の 71 kgとなる。

BMIは以下の通り

(1) 22.4913…

(2) 23.1833…

(3) 23.8754…

(4) 24.5674…

(5) 25.2595…

平成 25 年 4 月公表問題 問 36 の変形

問 35(4)

(4) 呼吸中枢は「延髄」にある。

平成 27 年 10 月公表問題 問 37 の変形

問 36(4)

(4) 血管カには、腎臓で尿素等をろ過した血液が流れており、血管エにはろ過されていない尿素等老廃物が含まれる血液が流れているので尿素はエを流れる血液の方が多い。

平成 27 年 4 月公表問題 問 37 と同じ問題

問 37(1)

(1) 本枝の記述は「シナプス」ではなく「ニューロン」についての記載である。

平成 25 年 4 月公表問題 問 39 の変形

問 38(2)

(2) 脂肪は「腸壁」から吸収される。



問 39(3)

- (1) 血中の老廃物は「糸球体」からボウマン嚢に濾し出される。
- (2) 血中の蛋白質は分子構造が大きいため、ボウマン嚢には濾し出されない。
- (3) 正しい
- (4) 原尿中に濾し出された電解質の多くは、「尿細管」から血液中に再吸収される。
- (5) 原尿中に濾し出された水分の大部分は、尿細管から血液中に再吸収される。

平成 27 年 4 月公表問題 問 39 と同じ問題

問 40(5)

- (5) 「赤血球中の抗原(凝集原)」と「血清の抗体(凝集素)」との間で生じる反応を血液の凝集という。

平成 27 年 4 月公表問題 問 40 の変形

問 41(3)

- (1) 平衡感覚をつかさどっているのは「前庭」と「半規管」である。
- (2) 皮膚感覚の中では「痛覚点」の密度が最も大きい。
- (3) 正しい
- (4) 長軸が長すぎるために起こるのは「近視」である。
- (5) 嗅覚は同一の臭気に「疲れやすい」

平成 26 年 10 月公表問題 問 41 の変形

問 42(3)

- (3) メラトニンの内分泌器官は「松果体」、はたらきは「生体リズムの調節」である。

平成 27 年 4 月公表問題 問 42 の変形

問 43(5)

(1) グリコーゲンが酸素が不足した場合に完全に分解出来ずに「乳酸」になる。酸素が十分あると完全に分解されるため乳酸にはならない。

(2) 筋肉の縮む速さが「適当なとき」に仕事の効率が大きくなる。

(3) 強い力を必要とする運動を続けていると「筋線維が太くなり」筋力が増強する。

(4) 人が直立している時は「等尺性収縮」が生じている。

(5) 正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 43 の変形

問 44(1)

(1) ストレッサーは、心身の活動の「抑圧」だけでなく「亢進」にも作用する。

平成 27 年 10 月公表問題 問 44 の変形